

平成20年度(第4回)女性懇談会進捗状況

地区	分類	質問(簡易版)	実施事項・今後の計画
蛭川	生活安全	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校では夏休みに通学路を点検している。 ・蛭川は寒冷地であり、真冬に通学路を点検していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年中に、点検の仕方、集約の仕方などを区長会、教育委員会(学校)、PTAが連携して行えるよう関係団体に説明および協力依頼をしました。 ・平成21年度から年間を通して改善要望の受付ができるようにしています。
蛭川	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診の蛭川地区での実施を希望する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・蛭川地区での実施は、対象者の人数、医師の確保、費用等、効率的、効果的な実施の見地から、現行通り福岡で実施していきます。 ・少子化により参加者が減少した事業については、医師の確保、費用、効果的な実施の見地から実施します。今後も限られた予算、人材で拠点化に関係なく、市民の方が標準化されたサービスが受けられるよう見直しを行って行きます。
蛭川	福祉・医療	<ul style="list-style-type: none"> ・診療所2階の空いた部分を活用してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・診療所(医療)施設であり、診療所が行う健康管理事業や、国民健康保険での保健活動事業等の用途に使用が限られています。(国民健康保険法第72条(調整交付金等)の交付基準により、使用の用途が制限)。 ・平成21年8月から5か月、毎週水曜日に国保の保健活動事業(機能訓練・介護予防生活改善教室)で使用しています。平成22年度も夏頃から国保の保健活動事業を計画しています。
蛭川	防災	<ul style="list-style-type: none"> ・火災発生時の防災無線で発生場所の詳細を広報できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報をもとに不特定多数に広報できない。また第1通報での広報については場所が不確実な場合があるため、今後も火災現場の詳細は広報しません。 ・防災メールに、一般向けより詳細情報が送信可能な消防団員のくくりを構築し20年11月から運用開始しました。
蛭川	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・笠置山登山道恵那市側はしっかり整備されている。あまり整備しすぎると魅力が無くなるが、もう少し山道を整備してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年4月に発足した「ウオーキングの道づくり推進市民会議(なかつウオーク)」と協働し、市内各地のウオーキングコースの選定・整備を順次進めています。 ・自然や歴史・文化を活かした手作りによるウオーキングコース整備の検討を、引き続き「なかつウオーク」と連携を密にし推進します。コースが市全域に渡ることから、笠置山についても順次検討を進めていきます。
蛭川	福祉・医療	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度までは、市の基本健診のほかに人間ドックにも助成があったが20年度は制度改正によりなくなった。従前の制度復活や健診項目にドックと同様な項目を設けることはできないか。 ・国保加入者以外の医療保険加入者に対しての市の助成制度はどうなっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市では国保加入者と生活保護の方にメタボリックシンドロームに着目した健診を実施しています。限りある予算の中で保険料を被保険者に還元できるよう移行しました。 ・各種がん検診、B・C型肝炎ウイルス検査、結核検診等は、一般の方も対象としていますのでご利用ください。
蛭川	産業振興	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化した農家が広い農地の管理をシルバー人材センターに委託しているところがある。委託料の支払いは、中山間地直接支払制度からでしょうか。市の支払いでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・蛭川は一協定で地区全域をカバーしており、制度は関係者に広く周知されています。